

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成21年7月21日)

項目		ページ
1	ロシア向けすいかテスト輸出について 【農政課】	1
2	「農地法等の一部を改正する法律」について 【経営支援課】	2
3	一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【耕地課】	3
	【森林・林業総室】	3
4	マグロ冷凍出荷を目指した凍結の実施について 【境港水産事務所】	4
5	「食のみやこ鳥取県」新・名物料理コンテストの結果について 【食のみやこ推進室】	5

農 林 水 産 部

ロシア向けすいかテスト輸出について

平成21年7月21日
農 政 課

新たに就航した境港と韓国：東海（トンヘ）とロシア：ウラジオストクを結ぶ定期貨客船を利用した本県農林水産物の輸出促進を図るため、以下のとおりすいかのテスト輸出を実施した。

1 すいかテスト輸出の概要

- ・出荷者 全国農業協同組合連合会鳥取県本部
- ・出荷量 すいか 600玉（秀2L 7～8kg/玉）
- ・現地活動 J A全農鳥取県本部、J A鳥取中央、県職員で訪問団を結成。
行政府、報道機関等への表敬訪問、小売店舗での試食会、テスト販売等を実施。
- ・販売先等 ウラジオストクほか
- ・販売価格 ウラジオストクでの販売予定価格 1玉あたり2,100～2,400ルブル
（日本円：6,300～7,200円）
※ 全農買取価格 1玉あたり2,000円
（7月10日国内市況 1玉あたり1,386円（秀2L））

2 主な日程

（1）産地での出発式

日時 7月10日（金） 午前10時～10時30分
場所 J A鳥取中央倉吉西瓜選果場
出席者 知事、倉吉市長、北栄町長、環日本海経済活動促進協議会長、在日ロシア商工会
理事長、J A鳥取中央組合長ほか

（2）植物検疫、通関手続き、コンテナへの積み込み作業

日時 7月10日（金）午後
場所 境港海陸運送株式会社 倉庫

（3）保管、コンテナ積み込み、出港

国際線コンテナヤードで保管後、7月12日（日）にフェリー積み込み、出港

（4）ロシアウラジオストクでのテスト販売等

7月14日（火） ウラジオストク入港
7月17日（金）～19日（日） 行政府、報道機関等への表敬訪問、市場調査及び小売
店舗での試食販売



（出荷式）



（すいか・ダンボール）



（出荷風景）

「農地法等の一部を改正する法律」について

平成21年7月21日
経営支援課

農地制度の抜本的な見直しを内容とする農地法等の一部を改正する法律が6月24日に公布された。

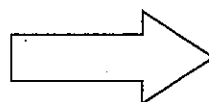
【改正のポイント】

1. 農地を貸しやすく、借りやすくし、農地を最大限に利用

- 農地法の目的等の見直し
- 農地を利用する者の確保・拡大
- 遊休農地対策の強化
- 農地の面的集積の促進

2. これ以上の農地の減少を食い止め、農地を確保

- 農地転用規制の厳格化
- 農用地区域内農地の確保



■ 国内の食料生産の
増大
■ 食料の安定供給の
確保

1. 農地を貸しやすく、借りやすくし、農地を最大限に利用

(1) 農地法の目的等の見直し <農地法>

- 「耕作者自ら所有することを最も適当とする」から「農地の効率的な利用を促進する」に改正
- 農地に権利を有する者の責務として「適正かつ効率的な利用の確保」を明確化

(2) 農地を利用する者の確保・拡大 <農地法>

- 貸借規制の緩和
→会社、NPO等が参入しやすくする。
- 貸借による利用を拡大
→農村集落において、非農家も含めた構成員による集落営農法人をつくりやすくする等。
- 農業生産法人への出資について外部からの出資規制を緩和
→農外との連携による経営発展に資するようする。(1/10以下の廃止→原則1/4、農商工連携事業等の場合1/2未満)

(3) 遊休農地対策の強化 <農地法>

- 適正に利用されていない遊休農地について、農業委員会による勧告、知事の裁定で公社等が利用できるよう措置

(4) 農地の面的集積の促進 <農業経営基盤強化促進法>

- 市町村、公社等の公的な信用力のある機関が、委任を受け、分散した農地を面的にまとめる仕組みを全ての市町村で導入

2. これ以上の農地の減少を食い止め、農地を確保

(1) 農地転用規制の厳格化 <農地法>

- 国、都道府県が行う病院、学校等の公共施設への転用について許可不要から法定協議制へ。
- 違反転用に対する罰則を強化(法人300万円→1億円)

(2) 農用地区域内農地の確保 <農業振興地域の整備に関する法律>

- 担い手により利用されている農地等は、農用地区域からの除外を認めない。
- 国及び都道府県において、確保すべき農用地面積の目標を設定。

3. その他の主な改正

(1) 農地の相続等の届出制度 <農地法>

- 相続等の場合で、農地法の許可を要しない権利取得についても、農業委員会への届出を義務づけ。

(2) 農地利用集積円滑化事業を創設 <農業経営基盤強化促進法>

- 市町村、市町村公社、農業協同組合等が、農地の所有者の委任を受けて、その者を代理して農地の貸付け等を行うこと等

(3) 農協による農業経営を可能に <農業協同組合法>

- 従来、組合員との関係で制限していたが、組合員の合意で貸借が可能に

4. 今後の対応

今後は、年内の法施行(※1)に向けて、関係政省令の改正(※2)が行われ、制度改正のより具体的な内容が明らかになる予定。今後とも情報収集に努めるとともに、随時説明会等を開催し、市町村、関係機関への周知を図っていくものとする。

※1 法施行は、公布の日(6月24日)から起算して6ヶ月以内 →12月24日までに施行

※2 政省令の改正時期は現時点で未定

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成21年7月21日
 耕地・林地・林業
 森林・林業
 課
 総務課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
耕地・林地・林業 課 (中部総合事務 所農林局)	鳥宮加勢蛇西2期地区細線 (7号ファームポンド)工事	東伯郡 琴浦町 福永	株式会社 井木組 代表取締役 井木 敏晴	85,995,000円 (設計額 100,516,500円)	平成21年6月29日 ～ 平成22年3月15日	平成21年6月29日	畑地かんがい施設の整備 ・77-ムポンド(D14.5m×H5.5m)1基 ・管水路 L=515m	総合評価方式 制限付き一般競争入札 平成21年6月18日開札 (10社応札)
森林・林業総務 (中部総合事務 所農林局)	林道若桜・江府線開設工 事(助谷工区)	東伯郡 三朝町 助谷	株式会社 重道組 代表取締役社長 重道 正	137,550,000円 (設計額 160,908,300円)	平成21年6月29日 ～ 平成22年3月15日	平成21年6月29日	林道開設 L=323.2m 掘削工 36,952㎡ 盛土工 260㎡ 補強土壁工 906.4㎡ 残土処理工 73,603㎡	総合評価方式 制限付き一般競争入札 平成21年6月22日開札 (13社応札)

マグロ冷凍出荷を目指した凍結の実施について

平成21年7月21日
境港水産事務所

境港マグロ高付加価値化研究会では境港産クロマグロの高付加価値化を目的としたマグロ冷凍出荷試験に着手した。

1 事業主体

境港マグロ高付加価値化研究会

会長：佐々木六郎（境港魚市場㈱）

会員：境港魚市場㈱、共和水産㈱、共和産業㈱、鳥取県漁協、㈱大新、㈱島谷水産、友田水産㈱

2 実施概要

(1) ラウンド（丸のまま）での凍結

目的 中央市場出荷を意図した既存大型冷蔵庫の活用によるマグロ凍結の検討

日時 7月8日（水）午前9時～午後1時

場所 北陽冷蔵㈱冷蔵庫内

凍結量 1尾（59kg）

凍結法 ブライン（液体）凍結（-22℃）

大型冷蔵庫内（-22℃）に設置した25%塩化カルシウム溶液の入った大型水槽内にエラ蓋や尾部を取り除いたマグロを4時間漬け込み凍結



※ラウンド凍結については6月8日にもマグロ2本（33kg）の予備試験凍結を実施。

(2) ブロックでの凍結（ロインを長さ18cmに切り分けたもの。2～4kgが主体）

目的 量販店、飲食店等への出荷を意図した専用機器によるマグロ凍結の検討

日時 7月8日（水）午前8時30分～午後5時

7月9日（木）午前8時30分～午後6時

場所 県営境港水産物地方卸売市場1号上屋内

凍結量 約290kg（ブロック約140個）

（マグロ9本分、486kg）

凍結法 ブライン（液体）凍結（-32℃）

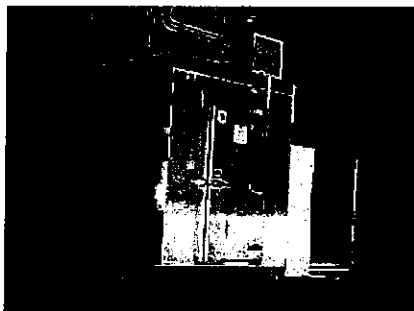
・ブロックをポリ袋に入れた後、袋内の脱気を実施し、密封シール。

・小型ブライン凍結機器（冷媒はエチルアルコール）を用いてポリ袋ごとマグロブロックを凍結。1回に20～30kg程度を2時間かけて凍結



(3) 凍結したマグロの保管

市場内（1号上屋）に設置した超低温冷凍庫（-60℃）内に搬入し保管



3 今後の取り組み

冷凍したマグロを11月下旬に関東市場及び県内外量販店、地元飲食店に出荷し、品質及び価格についての市場評価を把握。

「食のみやこ鳥取県」新・名物料理コンテストの結果について

平成21年7月21日

食のみやこ推進室

1 「食のみやこ鳥取県」新・名物料理コンテストについて

(1) コンテストの目的

観光等で鳥取県を訪れる多くの人に「鳥取に行ったら是非食べてみたい。」と思われるような、鳥取県の食材を活かした料理が誕生することを目的とする。

(2) 参加資格

鳥取県内で営業する飲食店、飲食を提供している宿泊施設（ホテル、旅館）

(3) 対象料理

次の両方の条件を満たすもの

- 主な食材に鳥取県産の農林水産物を使用しているもの（スイーツ、デザートを除く）
- 平成19年4月1日以降に販売が開始され、常時又は定期的に販売されているもの

(4) 審査の概要

○日 時 7月2日（木）正午から午後2時

○場 所 鳥取県福祉人材研修センター（鳥取市伏野1729-5）

○審査方法

参加者が作った料理を審査員が試食し、得票の多かった上位5点を「食のみやこ鳥取県」新・名物料理大賞として選定（同点5位までの全てを選定）

○審査基準 鳥取らしさ、オリジナル性、見た目、名物料理としての可能性

○審査員（19名）

鳥取短期大学教授 松島文子、鳥取県栄養士会会長 鍛冶木いつ子
 (株)農協観光鳥取支店長 塚田武志、フリーライター 岩村利恵
 鳥取県市場開拓局長、マスコミ関係者（7名）

県庁若手職員サブチーム（テーマ「食で地域おこし」）7名

○参加状況（22メニュー）

区 分	東 部	中 部	西 部	計
飲 食 店	3	2	4	9
ホテル、旅館	3	6	4	13
計	6	8	8	22

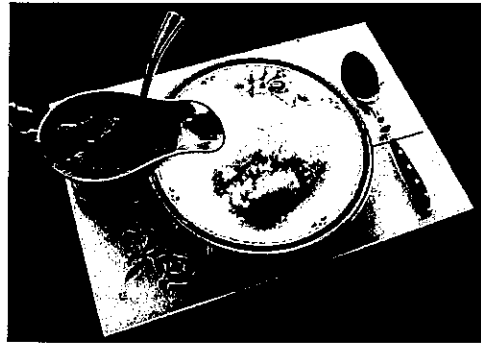
2 「食のみやこ鳥取県」新・名物料理大賞の受賞料理について（6メニュー）

料 理 名	出 品 者
うみ さち 海の幸のロースト・らっきょう風味ソース（因幡の傘踊り）	ホープスターとっとり（鳥取市）
だいせん 大山バーガー（鳥取和牛ヒレステーキバーガー）	榊水ファームステーション（伯耆町）
こいめし 鯉飯	養生館（湯梨浜町）
しろ ぎゅう 白ネギと牛スジのスパイシーカレー	アストリア・キャロット（米子市）
おほら しんたま まんじゅう 大原の新玉ねぎ万頭	木屋旅館（三朝町）
もさバーガー	お食事処海味（鳥取市）

新・名物料理受賞料理



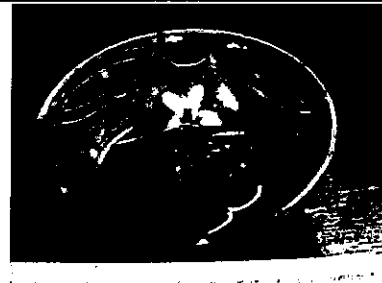
榭水フィールドステーション
大山バーガー (鳥取和牛ヒレステーキバーガー)
 850 円



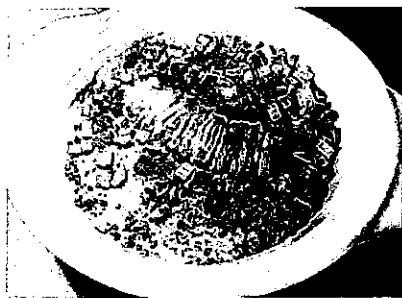
アストリア・キャロット
白ネギと牛スジのスパイシーカレー
 900 円



ホープスターとっとり
海の幸のロースト・らっきょう風味ソース
(因幡の傘踊り)
 1050 円(コースメニュー)



木屋旅館
大原の新玉ねぎ万頭
 200 円



養生館
鯉飯
 13000~18000 円 (コースの中で)



お食事処 海味
もさバーガー 500 円